

新入社員「発展に貢献」



新入社員を代表して記念品を受け取る渡辺晴香さん＝多治見市新町、市産業文化センター

多治見商議所の歓迎会で意欲

今春、多治見市内の事業所に入社した新入社員を対象にした「新入社員就職歓迎の夕べ」が24日、多治見市新町の市産業文化センターで開かれた。多治見商工会議所の恒例行事。コロナ禍でここ2年

は開けず、今回も懇親会は見送ったが「入社式をやめた企業も多いため、歓迎のメッセージだけでも伝えたい」（同会議所）と3年ぶりに開き、27社の80人が参加した。

田代正美会頭が「最初の会社は印象深く、仕事に対するDNAができる。どんな会社にも必ずいい部分がある。少なくとも5年はそこで勉強して背骨をつくり、人生を豊かにしてほしい」と呼びかけた。

新入社員を代表して太陽社電気の渡辺晴香さん（22）が記念品を受け取り、東濃信用金庫の森祐太朗さん（22）が「地域と各事業所の

発展のため、それぞれが生懸命頑張っています」

と感謝の言葉を述べた。
（箕浦由美子）